

## 令和5年度 専門委員会の活動報告及び評価について

### 都市建設専門委員会

付託事項	取組状況	評価・次年度に向けて
1. 都市計画道路の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「優先整備路線」の整備状況について整理し、活動報告やWebサイトに広域図を掲載した。</li> <li>・次回の都市計画道路の事業化計画の検討に向け、引き続き情報交換を行うとともに、広域行政圏区域図の更新作業を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備状況の広域図の発信は有意義である。適宜更新して発信されたい。</li> <li>・広域行政圏区域図を次期事業化計画検討に活用すること</li> </ul>
2. 連続立体交差事業の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業中区間・準備中区間の進捗状況を共有し、活動報告に記載した。</li> <li>・検討対象区間を含めた5区間について、各駅のまちづくりの取組や検討状況について情報共有を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市の状況を踏まえ、活動の方向を検討されたい。</li> <li>・検討対象区間のまちづくりの事業例なども参考にされたい。</li> </ul>
3. 鉄道の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市における鉄道駅のバリアフリー化の状況について情報共有を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有とともに、必要に応じて調査研究等も行われたい。</li> </ul>

### 緑化専門委員会

付託事項	取組状況	評価・次年度に向けて
1. 緑・水辺環境に対する保全意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりの重要性を再認識、保全意識の醸成を目的に「水と緑ウォッチングウォーク」を開催した。</li> <li>・参加者の保全意識に対する啓発として、コース上で圏域のみどりの歴史や現状の説明を行った。</li> <li>・協議会ニュースで散歩コースの紹介を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の魅力である「みどり」についての発信は、緑環境保全意識の醸成に重要である。引き続き、イベントの開催等により発信を行うこと</li> </ul>
2. 公園緑地等における公民連携や市民参加・協働による取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園緑地の整備・管理における公民連携として、小平市が新設する「鷹の台公園」等を例に意見交換を行った。</li> <li>・樹木や遊具などの公園の維持管理について情報交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進的な取組の情報共有は有意義である。引き続き、情報交換や研究を行い、各市の取組に生かすこと</li> </ul>
(都市計画公園・緑地の整備に向けた取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市の都市計画公園・緑地（優先整備区域）の進捗について情報共有を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、優先整備区域の進捗状況を共有するとともに、都の動向に注視すること</li> </ul>

### 情報推進専門委員会

付託事項	取組状況	評価・次年度に向けて
1. デジタル技術の活用に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティの内部監査の実施状況を情報共有した。</li> <li>・令和2年度に作成した「情報セキュリティ監査項目一覧」の活用について意見交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報セキュリティ監査項目一覧」を各市で活用できるよう、引き続き情報交換を行うこと</li> </ul>
2. 行政のデジタル化に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5市の行政手続のオンライン化について、手続別の実施状況・予定を調査（5市とも令和4年度中に開始）し、課題及び今後の方向性を検討した。</li> <li>・業務システム運用に関する情報共有を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、行政のデジタル化について意見交換を行い、各市の取組に生かすこと</li> </ul>

※情報推進専門委員会は、令和5年度をもって廃止し、実務者連絡会に移行させる。

理由：これまで、3市自治体クラウド化、監査項目一覧作成などの広域施策に成果を上げてきたが、基幹業務システムの標準化、ガバメントクラウドへの移行、GovTech 東京による共同調達など国や都レベルの共同化が加速しており、5市による共同事業案件が見出し難くなったため

## 生涯スポーツ専門委員会

付託事項	取組状況	評価・次年度に向けて
1. 多摩六都スポーツ大会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度から続く「ボッチャ多摩六都カップ」に替わり、新たに「たまろくとクリーンウォーキング」を10月に開催した。誰でも参加できる内容とし、運営体制や事業内容の検討を重ねた。</li> <li>・大会にゲーム性を持たせるとともに地域の魅力を知ってもらうため、ビンゴカードを導入した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規内容で開催することができた。本年度の開催の総括を行い、工夫した点を次年度以降に確実に引き継ぎ、よりよいスポーツ大会を実施すること。</li> <li>・多摩六都スポーツ大会の意義や効果について検討し、大会の実施に生かされたい。</li> </ul>
2. 多摩六都スポーツ大会の実施内容の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度は、担当の東久留米市の意向を尊重し、引き続き「たまろくとクリーンウォーキング」を実施することとした。</li> <li>・幅広い年代が参加できる大会を実施していく。</li> </ul>	
3. 圏域スポーツイベントの研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域住民が他市のイベントに参加できるよう、当該市民以外でも参加可能な各市のイベントの情報を集約し、各市ホームページや協議会 Web サイト、協議会ニュースで広報した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の更新や発信方法の研究など、圏域住民への情報発信に努められたい。</li> </ul>
(スポーツ施設の相互利用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内スポーツ施設の相互利用の種目や頻度を、協議会ニュース・協議会 Web サイトに掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の利便性向上に向け、引き続き、発信方法を工夫されたい。</li> </ul>

## 産業・観光振興専門委員会

付託事項	取組状況	評価・次年度に向けて
圏域の魅力の創出や地域ブランドの普及促進につながる、回遊施策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩観光推進協議会の回遊性イベントの開催にあたり、実施内容の検討や広報の協力を行った。</li> <li>・前年度の実績を踏まえて、より効果の高い企画提案を行い、実現に向けて関係する団体と連携して取り組んだ。</li> <li>・次年度以降の取組に向けて意見交換を行うとともに、先方と協力して具体的な検討を始めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの実施結果を踏まえて、集客力が高く効果の高いイベントを実施されたい。</li> <li>・地域ブランドの普及促進など、地域へ波及効果が見込める内容を検討されたい。</li> <li>・中長期的な目標を持って、ターゲットやテーマを明確に意識して取り組まれたい。</li> </ul>